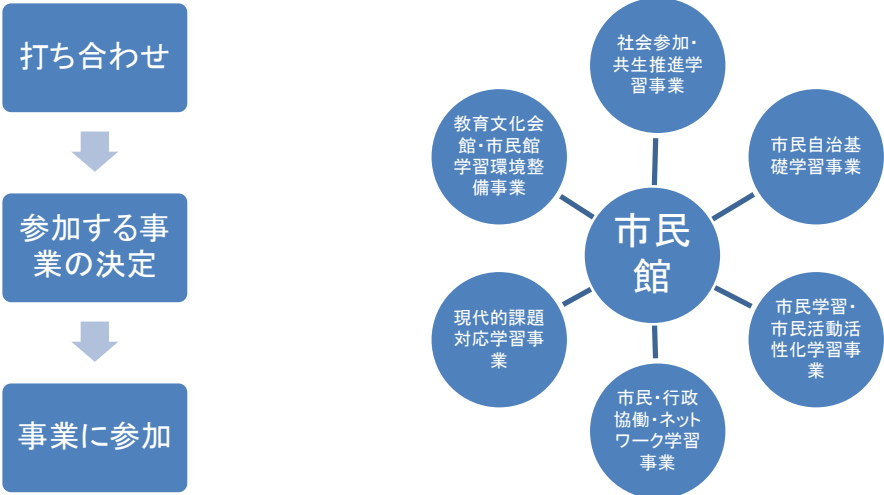


実習先	多摩市民館
目的・テーマ	(多摩市民館1)地域・社会における子どもや大人の学びを企画・支援する基礎的知識・技術の習得
目的・概要	受講学生・実習先の問題意識・背景・目的等 私自身、市民館を利用する機会があまりなく、どのような事業が行われているのかを知りたいと思い、実習先として選択した。
	概要 多摩市民館で行われている様々な事業の中から自分が参加したい・気になる事業をいくつか選択し、50時間に達するよう計画する。事業は識字学級や子育て支援の講座などがある。実習は基本的に見学や観察だが、参加することができるものもある。
分野	教育・福祉・子育て・環境・まちづくり
形態・期間・人数	長期継続 50 時間 人数 5 人
方法	見学・参加・体験・ボランティア
プログラム	(事前) 実習登録書・実習日誌の説明を行うとともに、実習に関する注意事項を講義し、訪問指導の教員から心構えを伝える。
	(事中) ・「たま親子学級」:2~3歳児の親子を対象とした、仲間と交流しながら前向きな子育てを目指す講座。親が講座を受けている間、子どもは保育室に預けられるのだが、実習生は保育室で保育ボランティアさんのお手伝いをする。 ・「たまたま子育てまつり」:子育て支援を目的とした市民館全体で行われるお祭り。実習生は実行委員会に参加し、おまつり前日と当日にも参加する。 ・「ちっちゃい演劇フェスティバル」:多摩区内で活動する演劇、ダンス、朗読などの市民グループ・個人が参加するイベント。実習生は実行委員会・前日・当日に参加する。 ・「市民館一日体験」:市民館の職員の方々の仕事を体験する活動。受付業務や打ち合わせに同行した。夏休みに行く。
	(事後) 1時間20分のうち50分間のグループワーク(活動報告、受け入れ先の学習の場としての意義と課題、自分自身が学んだこと)をし、A4用紙に簡潔にまとめ、グループ発表。 担当教員による30分間の全体講評、アンケートの記入。
方法論上の特記事項	

<p>成果</p>	<p>(学生)</p> <p>市民館の業務について詳しく知ることができた。市民館の事業は勉強や趣味をさらに深めるためだというイメージがあったが、それだけでなく地域でのコミュニティをさらに広げることのできるのだということがわかった。</p> <p>(受入先)</p> <p>いずれの事業においても真摯に取り組むことができた。特に市民館との協働事業において市民団体と関わる機会が多く、参加者の様子について意識できるようになった。そのため、市民の自立性、自主性を支援するための関わり方についての発見や気づきを得られたように思われる。</p> <p>(その他、地域住民、連携先等)</p>	<p>(表、グラフ、数値など定量的成果)</p>
<p>実施イメージ</p>		
<p>資料・写真等</p>		
<p>実施主体関係情報</p>	<p>・多摩市民館ホームページ: http://www.city.kawasaki.jp/tama/category/98-11-1-0-0-0-0-0-0-0.html</p>	